

科目名	社会的養護					開講 キャンパス	神 園
担当者	田 中 麻 里						
開講年次	1	開講期	後期	単位数	2	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	現代の子どもを取り巻く環境は、複雑で多くの問題を抱えている。そのため、社会的養護を必要とする子どもと家族への支援が必要である。本授業では、1) 社会的養護と児童福祉の関連、2) 社会的養護の変遷、3) 社会的養護の制度や児童福祉施設の種類や機能等、4) 社会的養護の現状と課題について、保育者が行う支援の具体例を入れながら解説する。また、3年次前期の施設実習にむけて、施設の基礎知識や意欲の充実をはかる。						
授 業 の 到 達 目 標	1) 社会的養護と児童福祉の関連を理解し、社会的養護の概念を述べることができる。 2) 社会的養護の歴史の変遷を説明できる。 3) 社会的養護の制度を述べることができる。 4) 事例より児童養護問題の発生のメカニズムが説明できる。 5) 施設養護の基本原則について説明できる。 6) 個人と集団に対する援助技術技法のポイントを説明できる。 7) 児童福祉施設の種類と機能について説明できる。 8) 施設における保育者の生活指導について、事例より理解する。 9) 児童福祉施設の職員と運営について説明することができる。 10) 社会的養護の課題について述べることができる。						
学習方法	講義、VTR・DVD 視聴						
テキスト及 び参考書等	テキスト：養護原理 昇地勝人、進藤啓子、田中麻里 編 ナカニシヤ出版						
評価基準・方法	到 達 目 標					評価割合%	
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験	◎	○	○			80	
小テスト等	◎			○		10	
宿題・授業外レポート							
授業態度			○			5	
受講者の発表							
授業への参加度			○			5	
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画 (学習内容・キーワードとスケジュール)							
第 1 週	オリエンテーション (①社会的養護を学ぶ目的、意義 ②講義の内容と計画)						
第 2 週	児童福祉と児童養護(1) (児童福祉の理念、児童の発達保障、児童理解、パーソナリティ形成、児童のニーズ)						
第 3 週	児童福祉と児童養護(2) (児童養護の歴史、社会的養護の概念、施設養護、家庭的養護)						
第 4 週	施設養護の実際 (保育者の職務、児童の現状) *VTR 視聴						
第 5 週	社会的養護の変遷 (日本の制度、欧米の施設)						
第 6 週	児童養護問題発生のメカニズム (児童福祉施設、児童相談所、親権、児童の意見表明権)						
第 7 週	施設養護の基本原則 (1) (一般的基本原則、人権尊重と人間形成、個別化)						
第 8 週	施設養護の基本原則 (2) (一般的基本原則、親子関係の調整、集団力動性、社会参加)						
第 9 週	児童養護の技術と方法 (1) (技術方法論の基本原則、個別援助技術、ケースワーク、カウンセリング)						
第 10 週	児童養護の技術と方法 (2) (技術方法論の基本原則、集団援助技術、グループワーク、スーパービジョン、ケースカンファレンス)						
第 11 週	施設養護の体系と施設の種類の (1) (居住型施設) *レポート作成						
第 12 週	施設養護の体系と施設の種類の (2) (居住型施設) *レポート作成 DVD 視聴						
第 13 週	施設養護の体系と施設の種類の (3) (通園型施設) *レポート作成						
第 14 週	児童養護と生活指導 (施設生活、衣食住、娯楽、余暇活動、学校と地域との関係、家庭環境の調整、支援、社会参加、アフターケア) *VTR 視聴						
第 15 週	児童福祉施設の職員・運営について (チームワーク、役割と責任、児童福祉施設最低基準)						
第 16 週	まとめ (試験の傾向と対策を含む) 試験						
備 考	※本科目は、保育士資格必修科目である。						